

## 資料館だより

No. 49 <sup>2014年</sup> 8 <sub>月号</sub>

過去と未来がひびきあう

ーようこそ、エコミューズへ。 www.aozora.or.jp/shiryou/ 西淀川・公害と環境資料館 エコミューズ

ASEANの若手リーダーが西淀川に! IATSSフォーラム受け入れました



2014年6月16日~ 18日、ASEAN諸国 の若手リーダー18 人が、持続可能な 地域づくりを考える ため、西淀川を訪 れました。

(公財)国際交通安全学会が運営する研修"IATSSフォーラム"の第51期生のみなさんで、日本に約2ヶ月、滞在して学ぶプログラムの内の3日間をあおぞら財団がお手伝いしました。

患者さんのお話、裁判の話だけでなく、㈱山崎シャーリングや 西淀川高校、あおぞら苑の訪問、国土交通省の道路対策のお 話など、多様な切り口で西淀川の地域再生の取り組みについ て学んでもらいました。

研修生の感想

・研修を通じて印象に残っているのは、将来の子ども達へよりよいまちを手渡そうという、西淀川の人々の「情熱」です。自分達の為だけでなく、将来の子供たちが安全で健康的な環境で過ごせるように、個人個人が地域への思いを行動に移し、地道な努力を続けていることが素晴らしいと思いました。

・工業発展が生態系や環境に与える影響の大きさを改めて実感した。このことを念頭に国の発展を考えるべきだ。ミャンマーは今、経済発展の真っ最中で、工業地帯も至る所に出来ている。公害も遅かれ早かれ経験するだろう。私はここで学んだことを関係企業に出来る限り伝え、企業活動に責任を持ってもらうよう働きかけ、IATSSフォーラムの同窓会組織や地元NGOと連携して公害に対する人々の関心を高めたいと思っている。

研修生の職業はさまざまでしたが、みなさん、西淀川の公害の経験や地域再生の取り組みから多くの教訓を得たと感想を語ってくれました。グループ研究の際には財団の発信する英語の資料もおおいに参考にされたそうです。

今回の学びを活かし、各国で公害を起こさない地域づくりに取り組んでほしいと思います。

公害資料館連携フォーラムの 報告書ができました

2013年12月に新潟で開催した、 公害資料館連携フォーラムの報告 書が完成しました。各地の公害資 料館のヒアリング記録、フォーラムで の議論の記録、資料館の現状一覧表な どが記載されています。

今、公害資料館がどのような役割を持ち、どのようなことを行っているのか、公害を伝えるためにどうありたいのか、各地で模索している様子がよくわかります。希望する方々には配布しているので、是非お声かけください。

今年は、富山で二回目の公害資料館連携フォーラムを 開催する予定です(2014年12月5日~7日)。そちらにもぜ ひご参加ください。

## ●全国公害被害者総行動に参加しました●

2014年6月4日・5日 と、東京霞が関で全 国公害被害者総行動 が行われました。読 んで字の如く、「全 国」の「公害」の 「被害者」が一堂に 東京に集(「総」)



まって省庁や企業に対して「行動」をします。年に1度、環境月間に開催されるイベントで、今年は39回目でした。水俣病の熊本・新潟から、イタイイタイ病の富山から、大気汚染の各地から、スモンなどの薬害や、横田や普天間などの基地公害、福島原発の被害者など、あらゆる公害の被害者が集まります。

エコミューズからは、公害の経験を伝えていくためにはどうすればいいかを環境省に投げかけました。患者さんの思いを大切にしてこれからも活動を続けていきたいと決意を新たにしました。

※「総行動」の過去の資料は、エコミューズにあります。 ご活用下さい。